

上部Ⅱ小反間作法(部分) 京都府立京都学・歴史館蔵 若杉家文書 鎌倉時代末期 写真提供: 京都府立京都学・歴史館 京の記憶アーカイブ 下部Ⅱ神棚(部分) 福井県立若狭歴史博物館蔵

陰陽師とは何者か

三館連携特別展

2024年 10月5日(土) ~ 11月4日(月)



第1部 陰陽師のあしあと

福井県立若狭歴史博物館

- + 開館時間 +
9時~17時(最終入館は16時30分)
- + 会期中の休館日 +
10月15日(火)、28日(月)
- + 観覧料 +
一般 400円、高校生 300円、小中学生 200円
○有料の方が20名以上の団体は2割引
○障がい者手帳をお持ちの方と介護者1名は半額
○常設展も観覧可

第2部 安倍晴明のものがたり

おおい町立郷土史料館

- + 開館時間 +
9時~18時(最終入館は17時30分)
- + 会期中の休館日 +
10月7日(月)、13日(日)、15日(火)、
21日(月)、24日(木)、28日(月)
- + 観覧料 +
特別展 無料 / 常設展 一般 100円
○団体(30名以上) 80円
○中学生以下および70歳以上は無料

第3部 暦とその文化

おおい町暦会館

- + 開館時間 +
9時~16時30分(最終入館は16時)
- + 会期中の休館日 +
毎週水曜日(10月2日、9日、16日、
23日、30日)
- + 観覧料 +
高校生以上 200円、小中学生 100円
○団体(15名以上)は1割引
○障害者手帳をお持ちの方は無料

[主催] 福井県立若狭歴史博物館・おおい町立郷土史料館・おおい町暦会館
[特別協力] 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館



陰陽師とは何者か

さまざまなイメージがある陰陽師ですが、陰陽師とは実際にはどういう存在だったのか。

陰陽師、陰陽道は古代に成立し、中世から近世へと役割が広がり、さまざまに展開しました。具体的な活動の様子を資料から明らかにしていきます。



＋ 展示構成 ＋

第1部 陰陽師のあしあと……………会場 福井県立若狭歴史博物館

陰陽師は古代に登場し、中世に広がり、近世においては統括されるようになり、その歴史的な変遷を追い、陰陽師が実際に行ってきた仕事の内容を紹介し、また、地方での陰陽師たちの様子も紹介します。

第2部 安倍晴明のものがたり……………会場 おい町立郷土史料館

陰陽師として名高い安倍晴明はさまざまな物語に取り上げられてきました。物語に紹介される安倍晴明とそのライバルたちを紹介します。

第3部 暦とその文化……………会場 おい町暦会館

陰陽師たちの主な仕事の一つとして、暦の作成がありました。それは現在の日本に生きる人々の暦に対する感覚を形成するものとなりました。そうした暦とその文化について紹介します。そのほか、安倍晴明の子孫であり、名田庄と関係の深い土御門家についても紹介します。

＋ 関連イベント ＋

日時＝10月6日(日) 13時～16時30分
会場＝おい町里山文化交流センターぶらっと
講師＝梅田千尋氏(京都女子大学教授)

日時＝10月26日(土) 13時30分～
会場＝福井県立若狭歴史博物館(小浜市)
講師＝小池淳一氏(国立歴史民俗博物館教授)

★ 記念講演会

★ 学芸員によるギャラリートーク



卓(暦の版木を再利用したもの) 福井県立若狭歴史博物館蔵



祭壇(会長の陰陽師の家に伝わったもの) 福井県立若狭歴史博物館蔵



3つの施設を巡って、スタンプを集めよう！スタンプを3つ集めた方には、ステキな特典をプレゼント！

わかさ陰陽師

スタンプラリー



おい町暦会館

〒917-0375 大飯郡おい町 名田庄納田終111-7
TEL・FAX 0770-67-2876



おい町暦会館へのアクセス方法▶

おい町立郷土史料館

〒919-2104 大飯郡おい町成和2-1-1
TEL 0770-77-2820
FAX 0770-77-2821



おい町立郷土史料館へのアクセス方法▶

福井県立若狭歴史博物館

〒917-0241 小浜市遠敷2-104
TEL 0770-56-0525
FAX 0770-56-4510



福井県立若狭歴史博物館へのアクセス方法▶